

科目番号		53011	分類	専門科目 臨床看護学領域	履修者	看護科学コース (看護管理者プログラム)		学年	
科目名	小児看護学特論Ⅰ (Advanced Course in Pediatric Nursing 1)							1	
								配当セスター	
								前期	
担当者	○中島 美津子 他 1 名			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概 要】 現代の日本社会において、子どもの成長・発達および生活環境を理解し、子どもと家族の理解を深めるために諸理論を探究する。 (オムニバス方式/全15回) 【目 標】 子どもを取り巻く生活環境を理解したうえで、子どもの成長・発達に関わる諸理論を理解する。								1. 護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力	
							○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力	
							○	3. 看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力	
								4. ヒト・モノ・カネ・情報等のシステムの管理能力の向上	
								5. 病院管理者の一員として管理能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢	
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
1	オリエンテーション、理論分析及び活用方法								中島 他 1 名
2	クラウド、ケネル：ボンディング理論								
3	ウィニコット：対象関係論								
4	ゲゼル：成熟論								
5	ボウルビィ：愛着形成								
6	マラー：分離固体化理論								
7	デュバル：家族発達理論								
8	子どもと家族をめぐる理論（1）エリクソン								
9	子どもと家族をめぐる理論（2）フロイト								
10	子どもと家族をめぐる理論（3）ボーエン、ミルトン								
11	家族システム理論								
12	子どもと家族と社会をめぐるコーピング理論、レジリエンス理論								
13	子どもと家族と社会をめぐるセルフケア理論、ストレスマネジメント理論								
14	子どもと家族と地域社会をめぐるソーシャル・サポート、ソーシャル・キャピタル								
15	諸理論の総括								
事前・事後学習	・事前課題：事前に提示する理論について自分なりの考察をまとめ講義に臨む。 ・事後課題：事前の考察から自分の現場を通じた考察を深め関連文献を読み、最新の知見をまとめる。 ・単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	・プレゼンテーション（20%）、討議への参加度（30%）、課題レポート（50%） ・適宜フィードバック								
参考図書・資料等	最新論文と共に、適宜紹介する。								
備 考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								